

銀杏学園 短期大学 同窓会だより

平成8年度



銀杏学園短期大学学長
野中 實男

国家試験

今年は大変楽しいことがあった。平成八年三月十日に行われた臨床検査技師の国家試験の成績がよかったこと(97%合格)である。

国家試験の前日、九大医学部小児科学教室の植田教授の定年退官記念会があり、福岡に行っていた私はその晩福岡に泊ることにした。そして、その翌日、早くから国家試験会場へ出かけた。試験場はまだ正門を開けてなく、門脇の通用門から庭へ入った。静かな中で瞑想しているとぼつぼつと人が集まって来た。

やがて試験が始まり校庭はまた静けさの中に戻って行った。そして午前中の試験がすんで受験生がどつと出てきた。本学の受験生も集まって来たが、どの人も明るい顔をしていた。「どうだった」と聞くところの人も「基礎的な問題が出ていました」と答える。「それではできたでしょう」と聞くと、これまたどの人も「私はどうかかわりません」と答える。しかし、その顔は皆明るい。私はその顔つきから何となく良い合格率が出るのではないかと思った。恐らく他の人を見た私の顔も明るく見えたに違いない。そしてその通り、いい合格率が出た。

私はかねがね、国家試験は選抜試験ではなく、

資格試験であるから、それに見合った基本的学識を見るような問題を出すべきであると考えていた。

基本的学識とは、社会に出た時実社会で行われている実務に躊躇いなく馴染んでいける知識であり、年毎に急速に進歩していく学術を十分受け入れて自分のものにしていける知識であると思う。臨床検査業務が行われる実社会と学校教育とは地続きではない。他の業務では卒業証書一枚で境を超えて実社会へ出ていくことができるが、検査業務ではその間に国家試験という川が流れている。この川を旨く飛び越さない限り、実社会に出ることとは出来ない。

今年はずどの卒業生がこの川を越した訳である。私は嬉しくて嬉しくて堪らなかつた。その私の心の中を飲み取るようにして皆で飲もうという事になった。飲みながらも、一人でこの成績は何によるものだろうと考えていた。先生方が熱心に教育してくれたことが大きな原因であることは間違いない。そして学生が一生懸命勉強したことも間違いないことである。そしてこれらに出題傾向の変化が加わったと思う。この成績が波及して副次的に学生に心の余裕を与えてくれればよいと思っている。

先日、臨床実習の報告会があつた。その中でつくづくと感じさせられたのは、実習先の病院での技師の先生方の教育が大変良いということであつた。多くの先生方が本学卒業の先輩であられることもあつて、学生は大変喜んでゐた。私自身もこのことに大きな感謝の念を懐いており、今後も宜しくお願ひしたいと思つています。



銀杏学園短期大学同窓会長

梅橋 豊蔵

ご挨拶

同窓生の皆様には益々ご健勝のことと存じます。1年の経つのは誠に早いもので、今年も残すところ3カ月余りとなり、忘年会の話を書く季節となつてまいりました。感傷の秋という訳ではありませんが、目先の雑事にとらわれ過ぎ毎日を少し無為に過ごさずにはないかと反省しております。

さて、バブル崩壊後のわが国の経済状況は、各企業のリストラ等の必死の努力にもかかわらず、世界一の高人工件費等の要因も加わり、一向に明るい兆しが見えてきません。むしろ、製造業の海外への生産拠点の移動、人口の高齢化、東南アジア地区の経済的台頭等、益々厳しい条件への対応が求められつつあります。我々の従事する医療産業も国の長期的展望に基づいた医療費抑制策により、一層厳しい環境となりつつあります。

多くの会員が所属する医療機関等も、当然厳しい環境下に晒されることになり、内部努力で打ち勝つて行かなければ、例えば公的機関と言えども将来に明るい展望は望めないのが実情であろうと考えます。この組織としての対応は、当然我々臨床検査関係職種にも環境の変化をもたらす。そのことに対する確かな対応が求められます。自由主義社会の原則は「競争」であります。医療は聖域であり、この聖域に経済原理を持ち込んではいけません、と言う考えも一面では正論といえますが、その前に生存権としての競争の原理が優先するのが現実であることは論をまたないところであります。検査技師も自分たちの

職場・職域は自分たちで守る、と言うごく当り前のことに、真剣に取り組まなければならぬ時であります。

今年第31回九州臨床検査学会が、去る9月21日・22日の両日、宮崎市で開催されました。折しも台風17号が北上し開催が危ぶまれましたが、幸い進路が反れて無事盛會裡に開催されました。この学会懇親会の終了後に宮崎県支部会長の黒木先輩方のご努力により、同窓会が開催されました。開催時間帯が21時からと遅かつたのと、殆どの宮崎県の会員が、学会運営委員として朝早くから出勤しなければならぬということなどもあり、女性会員の参加がもう少しという感がありました。が、医技専1期の岳野先生を筆頭に2期の池田・上村・中原・横山の4先生、3期が黒木・山辺の両先生など、そうそうたる方々から比較的若い会員まで大勢お集まり頂き、大変賑やかに開催され、同窓生でなければ味わえない楽しい一時が過ぎました。近日中に福岡県支部の同窓会も開催予定とのことでもありますし、今後とも是非活発な組織活動を各支部にお願い申し上げます。

毎年開催してきております同窓会の技術講習会は、今年で24回目となります。昨年からマンネリ化防止と講習会参加者数改善を主目的として、各卒業期が中心となって企画・運営を担当していただくことになりました。昨年12月開催の第23回の講習会は、銀大10期生が中心となつて担当して頂き、内容も好評であり、かつ約150名にご参加頂き目論見通りに終了できました。平成8年度は11月30日(土)に銀大11期生が中心となつて準備を進めていた、だいたいしておりますので、是非多くの会員に参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

「傍目八目」と言う言葉があります。周りの冷静な目で見ると同窓会運営も改善すべき点に多々気付かれることと思います。会員の皆様の忌憚のないご意見を拝聴しつつ同窓会活動に反映していきたいと考えておりますので、何卒ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

同窓会技術講習会へのお誘い

第24回技術講習会運営委員長
日赤健康管理センター

木場 博幸

秋も深まり紅葉が美しい季節となりました。同窓生の皆様方におかれましては如何お過ごしでしょうか。

昨年からのこの技術講習会は各卒業期生が主催することとなり、今回で2年目を迎え、私共銀大11期生が担当致します。

今回は、平成8年11月30日(土曜日)に13:30より17:00まで技術講習会を17:10より18:40まで懇親会を化血研厚生会館「ふれあい」に於きまして開催いたします。

本技術講習会をどのように企画するかを同期で検討した結果、色々な職場においてもリストラの嵐が吹きすさぶ日本経済において、病院へ既に就職している検査技師においても厳しい現状の中、また、病院へ就職できる検査技師の割合が減りつつある状況の中で生き残り、かつ銀大のさらなる発展を遂げさせるためには、いかに各個人の資質を高め自分に付加価値を付けさせるか、新たな職域の開発は可能なのか、と言うことに着目しなければならぬと考えました。

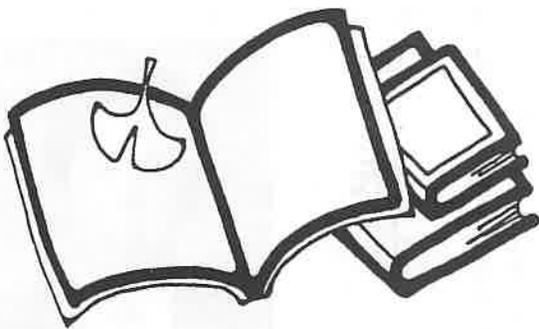
そのため今回のメインテーマとして「21世紀へ向けて新たな分野の開拓」、サブテーマとして「検査技師の可能性」7人の本学卒業生に発表をお願い致しました。

具体的には、検査技能の専門性の向上として、超音波検査士の資格を修得され実際の現場で活躍されている、健康管理センターの田中 信次 技師と、最近制定されました認定輸血検査士の資格を修得された済生会病院の古田 幸子 技師また、微生物の分野で臨床病理技術士一級の資格を修得されました佐賀医科大学の永沢 善三 技師ならびに生涯学習等で近年注目を集めている保健衛生学士の資格を修得されました(働)化血研の正木 孝幸 技師にどのような目的意識でこれらの資格を取ろうと思われたのか、取るため

の勉強法などについてご講演頂く予定であります。また、新たな分野の開拓として臨床検査技師でありながら、病院検査技師や検査センターにおける検査技師とは異なった職歴を有される方々として、検査業務の企画を担当されていらっしゃる日赤健康管理センターの成松 隆一 技師、Medical Representativeとして治療薬販売に関する学術活動をされている(働)化血研の山内 芳裕 技師、さらには販売食品の品質管理に携わっていらっしゃる(働)ニコニコ堂の吉田 晏子 技師にそれぞれの経験についてご講演をお願いしております。

文化講演では、慈愛園子供ホーム園長でいらっしゃる(働)いまます潮谷 愛一 先生に先生の長年に渡る福祉活動の実践により得られたご経験について、演題名「赤ちゃんからお年寄りまでの人生について」のご講演を賜われます。

今回の講演は、今まで参加される機会のなかった若手ならびに検査技師の卵の方々や多くの女性同窓生の方々にとって有意義な講演となるものと確信しております。どうぞ、同窓会を盛り上げていくためにも多くのご参加をお待ち致しております。



現代医療の一翼を担う九州屈指の医療短大

ぎんぎょう 銀杏学園短期大学

■衛生技術科(3年制) 100名

- 臨床検査技師育成
- 特典
臨床検査技師国家試験
受験資格取得

○就職

- 医療機関・研究所など

■看護科(2年制) 40名

- 看護婦(士)育成
- 高卒准看資格者

○特典

- 看護婦(士)国家試験
受験資格取得

○就職

- 医療機関

■推薦入試

	受付期間	試験	試験科目
衛生	8年11月12日 ~11月22日	12月3日	小論文、理科(物理IB、化学IB、生物IBの中から1科目選択)、面接、健康診断
看護	8年11月12日 ~11月22日	12月3日	小論文、看護学、面接、健康診断

■一般入試

	受付期間	試験	試験科目
衛生	一期 9年1月6日 ~1月17日	2月4日	数学(数学I・II)、外国語(英語I・II)、理科(物理IB・II、化学IB・II、生物IB・IIの3科目の中から1科目選択)、面接、健康診断
	二期 9年3月7日 ~3月12日	3月21日	
看護	9年1月6日 ~1月17日	2月4日	基礎科目(国語(現文)・数学I・英I)、看護基礎医学、看護学、面接、健康診断

■募集要項(千共1,000円・小為替のみ)の請求は教務課まで。



銀杏学園短期大学

〒860 熊本市大窪一丁目6-2

☎096(344)7611(代表) / ☎096(356)5656(教務課)

银杏学園短期大学同窓会 第24回臨床検査技術講習会プログラム

日時/平成8年11月30日(土曜日)

13:30~17:00(技術講習会)

17:10~18:40(懇親会)

場所/化血研 厚生会館「ふれあい」

メイン会場 3Fホール

懇親会会場 1F食堂

文化講演 16:10~17:00

演題「子供からお年寄りまでの人生について」

講師/慈愛園子供ホーム園長 潮谷 愛一先生

座長/運営委員長 木場 博幸

パネルディスカッション 14:00~16:00

メインテーマ「21世紀に向けて新たな分野の開拓」

サブテーマ「検査技師の可能性」

〈専門性の向上〉

超音波検査士	健康管理センター	田中 信次 技師
認定輸血検査士	済生会病院	古田 幸子 技師
一級臨床病理技術士	佐賀医科大学	永沢 善三 技師
保健衛生学士	財化血研	正木 孝幸 技師

〈新たな分野の開拓〉

検査業務の企画	日赤健康管理センター	成松 隆一 技師
Medical Representative	財化血研	山内 芳裕 技師
販売食品の品質管理	㈱ニコニコ堂	吉田 晏子 技師

司会/林 眞三技師(NIT九州病院)
国田秀樹技師(熊本労災病院)

主催/银杏学園短期大学同窓会 熊本市大塚1丁目6の2

後援/银杏学園短期大学 熊本市大塚1丁目6の2

後援/財化学及血清療法研究所 熊本市大塚1丁目6の1

潮谷愛一 プロフィール

昭和14年生まれ

昭和37年 日本社会事業大学卒業 養護施設勤務

昭和45年 アメリカウィッテンバーグ大学交換留学
アメリカ情緒障害児施設研修

昭和46年 ねむの木学園園長代理

昭和47年 尚綱短期大学助教授(～59)

昭和59年 慈愛園子供ホーム園長
熊本県立大学 非常勤講師(旧県立女子大)(昭和52～平成8)
熊本ボランティア協会会長

ニューフェイス 登場

银杏学園短期大学
衛生技術科

正代 清光

はじめまして、今年2月より銀大衛生技術科の助手として、後輩達の指導にあたることになった正代と申します。簡単に私の自己紹介をさせていただきます。

平成元年に银杏学園短期大学衛生技術科に入学し、平成3年に無事に滞りなく卒業する事が出来ました。その年の4月より財団法人実験医学研究所に入所し、そちらで約4年間お世話になりました。平成8年2月、再び助手として銀大に戻って来ることになりました。

私の略歴はこの程度にしまして、まず、私が4年ぶりに銀大に戻ってきて一番最初に感じたことは、学生達に活気がなく、

また学生一人一人に個性が無いということでした。確かに私たちが学生の時と先生方から見た場合はそうだったのかも知れませんが、今の学生達よりもよく遊び、よく運動し、よく勉強?もしていたかと思えます。銀大生に限らず、最近の学生は活気が無く、個性に欠けていると新聞や雑誌等でもよく目にしますが、特に銀大の学生にはそれが顕著に見受けられます。その理由として考えられる事としてまず第一に、国家試験合格重視の教育カリキュラムによるゆとりのなさ、第二にサークル活動の低迷等が考えられると思えます。まず第一の理由の国家試験合格重視の教育カリキュラムについては、これが3年間という短い期間で多数の教科の単位を修得しなければならず、また最近では自分の勉強の仕方からなるといような学生が多い為か、実習のレポートや、課題等がいつい多くなってしまう傾向があるように思えます。確

かに今の学生は何か勉強するきっかけが無いとしようと思いません。しかしこれでは押しつけの教育で高等学校までのシステムと変わらない様な気がします。これを要するには学生達の意識改革つまり自主性が重要だと思えます。その為には、まず授業が楽しく、時には興味深いものにしていきたいと思えます。しかし自主性ばかりを重視する時にはあまやかしと取り違える学生も出てくる場合もあります。それをいかに解消して行くかが、私の今後の課題です。第二のサークル活動の低迷ですが、これはもつとゆとりのある教育が出来れば、自ずと活発化してくるものと考えています。

また、平成9年度からゆとりのある教育ということでカリキュラムの一部改正並びに、遺伝子検査学という新しい科目の追加が予定されています。現在私は熊大医学部の生化学第一講座で遺伝子関係の勉強をさせて頂いている最中です。

(平成8年8月19日～平成8年9月20日) これから新科目の導入があった場合に速やかに対応出来るように準備はしておきたいと思っています。臨床検査の分野に限らず、テクノロジーは日々進歩しています。それを把握するには文献だけを読むのではなく、経験や、体験を通して吸収していくことが必要ではないかと考えています。私達が学生に指導している際にも同じ事が言えるのではないのでしょうか。

これまで、現在の私の心境及び今後の抱負を簡単に述べましたが、まだまだ私も未熟者です。これから諸先輩方のご指導ならびにご鞭撻よろしくお願い致します。

平成8年9月吉日

HYPER
QUALITY
LIQUID
CONTROL

抜群の透明感と 優れた安定性

液状ネスコールは、厳選されたヒト血清をベースとして、その内容成分に変化をきたさないよう最適条件で凍結した多項目精度管理用血清です。また、精度の高い測定方法により値付けされた分析値を、製品ロットごとに表示してご提供します。

精度管理用血清 (正常域) 液状ネスコール[®]-N 精度管理用血清 (異常域) 液状ネスコール[®]-A

臨床検査試薬

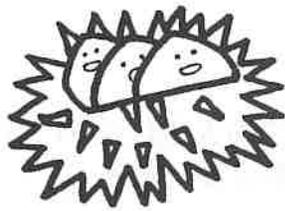
- 特徴**
- 液状品であるため、凍結乾燥品にみられる復水による誤差がありません。
 - 信頼性の高い分析値を表示しています。
 - 透明度に優れています。
 - 添加酵素の由来は右表のとおりです。

酵素	由来
A L P	子牛腸
A S T	豚心臓
A L T	豚心臓
L D	豚心臓、筋肉
γ G T	牛腎臓
C K	豚心臓
A M Y	豚膵臓

発売元  **日本商事株式会社**
大阪市中央区石町二丁目2番9号 千540

製造元  **化血研** 財化学及血清療法研究所
熊本市大塚一丁目6番1号 千860

会計部 より



第23回技術講習会時総会で承認された会計報告内容について御報告致します。
今回は長年承継してきた会計報告形式が会長の意向により下記のような形式に変更されました。変更点は

- (1)様式(形式)の変更、
- (2)特別会計(技術講習会)を一般会計取り扱いとして組み込むの2点です。(1)は下記の報告書を見て頂ければわかる通りの形になり、(2)は今まで講習会は特別会計として独立採算制でしたが全部一般会計の中で処理することになりました。昨年度の会計報告は今年度の形式に変えて併記してあります。以上は平成8年度から形式的になじんでくるとおられます。

終身会費受付継続中

(納入先)

郵便振込
第一勧業銀行

口座番号 01910-9-35812
口座番号 682-1215739
〒860 熊本市大塚1丁目6番2号
银杏学園短期大学同窓会 宛

(母校銀大の住所変更がありました。)

会計監査報告

平成7年12月2日(総会時)

平成7年度 同窓会 会計報告

(総会会計報告資料 3部)

銀大同窓会平成6年度会計収支明細及び平成7年度中間収支明細、
必要書類(領収書含む)を監査し、異常なき事を認めます。

银杏学園短期大学同窓会 会計監査
N T T九州病院臨床検査科 藤井 勝
熊本中央病院 検査科 江藤博三

平成8年度予算案

収入の部 平成8年4月～平成9年3月

科目	8年度予算	7年度予算	備考
1.繰越金	8,500,000	8,500,000	平成7年度より
2.会費	900,000	800,000	新入生90名
3.寄付金	200,000	200,000	銀大後援会
4.協賛費	500,000	500,000	佐藤印刷、龍大印刷
5.講習会収入	250,000	250,000	懇親会費等
6.雑収入	25,000	30,000	利息等
収入合計	10,375,000	10,280,000	

支出の部

科目	8年度予算	7年度予算	備考
7.会誌発行費	250,000	250,000	会報(同窓会より)
8.名簿発行費	0	1,150,000	発行なし
9.講習会費	800,000	200,000	講習会及び懇親会
10.会議費	100,000	100,000	理事会・評議員等
11.支部活動費	200,000	200,000	支部活動等
12.印刷費	100,000	100,000	封筒等
13.通信費	100,000	100,000	切手代等
14.事務消耗品費	50,000	50,000	文具等
15.旅費・交通費	50,000	0	
16.雑費	50,000	50,000	
17.予備費	50,000	50,000	
支出合計	1,750,000	2,250,000	
次期繰越金	8,625,000	8,030,000	平成9年度会計へ繰越

平成7年度中間報告

収入の部 平成7年4月1日～平成7年9月末現在

科目	予算額	決算額	備考
1.繰越金	8,500,000	9,101,845	平成7年度より
2.会費	800,000	890,000	新入生89名
3.寄付金	200,000	0	銀大後援会
4.協賛費	500,000	0	佐藤印刷、龍大印刷
5.講習会収入	250,000	0	
6.雑収入	30,000	8,531	利息等
収入合計	10,280,000	10,000,376	

支出の部

科目	予算額	決算額	備考
7.会誌発行費	250,000	0	会報(同窓会より)
8.名簿発行費	1,150,000	0	発行予定
9.講習会費	200,000	0	講演料等
10.会議費	100,000	29,000	懇親会・講習会等
11.支部活動費	200,000	100,000	福岡支部
12.印刷費	100,000	0	
13.通信費	100,000	6,530	切手代
14.事務消耗品費	50,000	0	
15.交通費	0	0	
16.雑費	50,000	0	
17.予備費	50,000	0	
支出合計	2,250,000	135,530	
次期繰越金	8,030,000	9,864,846	平成7年度9月末現在

平成6年度決算報告

収入の部 平成6年4月～平成7年3月

科目	予算額	決算額	備考
1.繰越金	7,500,000	8,344,931	平成5年度より
2.会費	800,000	970,000	新入生89名等
3.寄付金	200,000	200,000	銀大後援会
4.協賛費	500,000	500,000	佐藤印刷、龍大印刷
5.講習会収入	300,000	288,000	懇親会費
6.雑収入	30,000	36,997	利息等
収入合計	9,330,000	10,339,928	

支出の部

科目	予算額	決算額	備考
7.会誌発行費	250,000	393,788	会報(同窓会より)
8.名簿発行費	0	0	発行なし
9.講習会費	200,000	644,179	講演料等
10.会議費	100,000	37,000	理事会等
11.支部活動費	200,000	50,000	福岡支部
12.印刷費	100,000	0	
13.通信費	100,000	5,329	切手代等
14.事務消耗品費	50,000	50,873	封筒印刷等
15.交通費	0	10,040	関西地区
16.雑費	50,000	46,874	香典代等
17.予備費	50,000	0	
支出合計	1,100,000	1,238,083	
次期繰越金	8,230,000	9,101,845	平成7年度会計へ繰越

庶務部



昨年度同窓会名簿を発行することができました。これも評議員の皆さま、各施設の皆さま、また住所変更の連絡を入れて頂いている皆さまのお陰とっております。今回の名簿は如何でしたでしょうか?

このスタイルになって3回目の発行となりますので、少々マンネリ化しているような気がします。名簿の調査には注意を払ったつもりですが、調査が不十分で各方面の方々にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ご存じとは思いますが、この名簿は終身会費納入者の方のみに配布しております。会費を納入されたにもかかわらず、御連絡先の不明等で名簿をお渡しできていない方も若干おられますので、もしお知り合いにそのような方がいらっしゃったら、御手数ですが庶務部までお知らせください。なお、このあと終身会費を納入された方にも、現在の名

簿の在庫がある限りはお渡しできると思います。

また、今回の名簿にも連絡先変更届を綴じこんであります。住所、姓名、勤務先などが変わられた際には、この届用紙を御利用頂ければ幸いです。もちろん、官製ハガキ、電話、ファクシミリ、伝言その他どのような形でも結構ですのでお知らせ頂くと、この後、同窓会だよりと名簿がきちんとお届けできることと思います。名簿をご覧になった方はおわかりと思いますが、未だ、二百名近くの方々の連絡先が不明です。下記の宛先でも連絡先変更は受け付けておりますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

庶務部：〒860 熊本市大塚1-6-2
银杏短大内 同窓会庶務部

☎096-344-7611